

鵜の木地区地域情報紙 第94号

さんぽみち



発行：地域力推進鵜の木地区委員会
 編集：鵜の木地区 地域情報紙編集委員会
 事務局：鵜の木特別出張所
 電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

鵜の木特別出張所管内の人口
 (平成30年6月1日現在)

男	12,163人
女	13,422人
計	25,585人
世帯数	13,954世帯

着任の挨拶



鵜の木特別出張所長
 森田 治樹
 この度、着任いたしました森田治樹でございます。

「オアシス」の挨拶運動をとおして、多くの方々と出合える喜びを日々感じているところでございます。今後は、長年地域の皆様から培ってきた活動の一助となり、信頼と愛情を賜れる出張所を目標として、精一杯努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

千鳥小学校 PTA会長
 尾島 大輔

今年度PTA会長をさせていただきました。尾島と申しますが、母校である千鳥小学校にこのような形で関わることができることも嬉しく思っております。PTA活動を通して、子供たちが安心して過ごせる環境づくりを目指していきます。役員の皆様や保護者の皆様、先生方、そして地域の皆様、一年間よろしくお願いいたします。

夏の行事予定

日程は予定です。詳しくは各町会掲示板などでご確認ください。

- 鵜の木地区連合運動会**
 - 9月30日 (嶺町小学校)
 - ※昨年と場所が異なりますのでご注意ください。
- 盆踊り**
 - 7月25日・26日 (鵜の木三丁目)
 - 8月18日・19日 (中央児童公園)
 - 8月22日・23日 (鵜ノ木八幡神社)
 - 8月25日・26日 (鵜ノ木銀禧商店街)
 - (千鳥町お祭り広場)
- お祭り**
 - 8月25日・26日 (千鳥町お祭り広場)
 - 9月1日・2日 (南久が原児童公園)
 - 9月8日・9日 (鵜ノ木八幡神社)
 - 9月15日・16日 (御嶽神社)
- ラジオ体操**
 - 7月23日～7月27日 (鵜の木松山公園)
 - 7月21日～7月27日 (南久が原児童公園)
 - 7月23日～7月27日 (多摩川河川敷)
 - ※7月23日のみ 東京高校体育館
 - 7月23日～7月29日 (つきやま公園)
 - 7月25日～7月31日 (千鳥いこい公園)

町会長リレーエッセイ

いつのまにやら終活期

千鳥北町会会長 吉崎 迪三

20代の頃、自分探しの一人旅、海を見ながらノートにメモした事は、「自分の命は、神様から借りたもの、いつか必ず返す時が来るので、その時に半分しか使っていないかったり、ほとんど使っていないければ勿体ないので、返す時は燃えカスにして返そう。そして肉體は両親からの贈り物、丈夫な体には産んでくれた事に感謝しよう。」今にして思うと、このメモに残した事が、今までの人生の基礎になっている様な気がするのです、これ

からも今まで通り、悪い事や人に迷惑をかける事なく、自分に出る事は一生懸命、おごらず、たかぶらず、楽しくやっていたらと思っています。又鵜の木地区7町会の皆様とお会い出来た事を幸に思いつつ、次は会長さんにバトン・タッチしたいと思えます。



我が家も次世代にバトンタッチ

第30回 全国鵜の木まつり

7月18日(水)～22日(日)

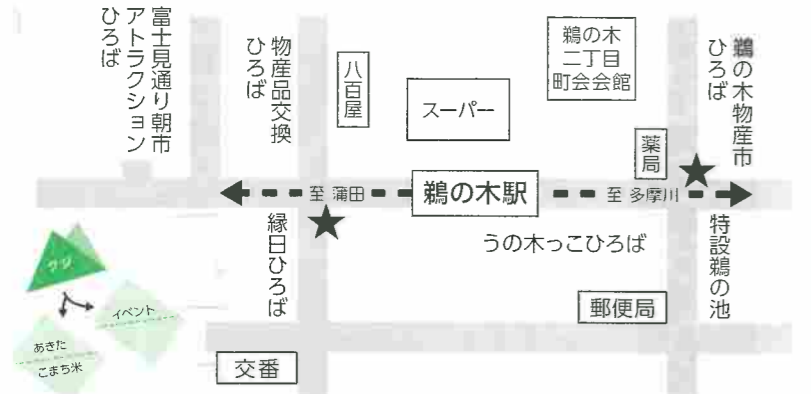
21日(土) 音楽隊パレード イベント開催(15:00～)
 22日(日) 朝市(9:00～11:00)

主催：鵜の木商店連合会
 後援：大田区

※ポスターのある商店(約60店)で7月18日～7月21日に買い物をするとう三角クジがもらえます。外れは当日のイベント券として利用できます。※イベント券は当日の販売もあります。(地図の★印で)



主なイベント



アトラクション

7/21(土)	13:00 音楽隊パレード 15:30 なまはげの巡行	各商店街
	15:00 多摩川鵜の木太鼓演奏(子供) 15:30 キッズバスケットミュージックの演技 16:00 東京高校チアリーディング部の演技 16:30 大森第七中学校吹奏楽部演奏 17:00 多摩川鵜の木太鼓演奏(大人)	アトラクション ひろば (富士見通り)
7/22(日)	9:00 朝市	富士見通り



鵜の木商店連合会 会長 川瀬 昌男
 早いもので平成も三十年になりました。平成元年、全国鵜の木まつりは誕生しました。第三十回の節目の今回はにぎやかに音楽隊のパレードで開幕します。うーちゃんやなまはげなど人気者もはりきっています。ぜひ見に来て下さい。三角クジにはうーちゃんストラップが加わります。Tシャツ共々鵜の木の子に人気！食べて遊べる三角クジで当てて下さい。巨大鵜の池に金魚がいっぱい、鵜の木生まれのあげパンもどっさり用意します。商店街でお買物をして三角クジをもらって下さい。全国14ヶ所の『うのき』が名産品を揃えてお待ちしております。今年も全国鵜の木まつりで夢いっぱい楽しさ満載の夏を！ご期待下さい。鵜の木商店街が総力を上げて皆様のおもてなしをさせていただきます。

表彰

- 町会長退任感謝状受賞者 (鵜の木東)
- 植松勝己 (南久が原一丁目)
 - 蓮池攻 (鵜の木東)
- 町会連合会永年在職者感謝状受賞者 (鵜の木東)
- 高梨絃子 野々村健三 (鵜の木東)
 - 新川美恵子 杉田千恵子 海發恵子 (鵜の木西)
 - 淡路孝一郎 坂西強 (鵜の木二丁目)
 - 杉山正広 入岡一美 (鵜の木三丁目)
 - 齋藤ちえ子 (千鳥南)
 - 奥野利一 渡邊和子 梅原忠俊 (千鳥北)
 - 佐々木敬子 石橋節子(南久が原一丁目) 敬称略

編集委員紹介

今年度の「さんぽみち」の編集委員です。よろしくお願ひします。

井原倬夫・高梨絃子・村松茂
 鳥谷容子・加藤多津美・鳥海美香
 岩田久美子・田中克美・渡辺靖彦
 井上純一・田中裕・猪原儀久
 野口伸雄・向山和美
 (事務局) 森田所長・森副所長・後藤

編集後記

田中編集長の後を受けて、本号より編集を担当させて頂く野口と申します。これまでのやり方に、新しい考え方も取り入れ、皆さんに喜んでいただける紙面を目指します。巻頭は、鵜の木祭り特集です。地域の小中学校は、区切りの周年を迎えています。校長先生から新たな意気込みをお聞きしました。地域包括センターの役割や利用の手引きをまとめました。人となりにフォーカスした町会長リレーエッセイが始まりました。今後ともよろしく、お願ひします。編集長 野口 伸雄

こんにちは「地域包括支援センターたまがわ」です!

健康増進・介護予防サロン
地域の皆様が心身ともにすこやかに、いつまでもお元気で暮らしたいだけというよう、千鳥サロン(毎月第1月曜日)、はつらつ教室(毎月第2月曜日)、鶉の木サロン(毎月第2金曜日)、鶉の木サロン(毎月第2金曜日)、介護予防体操 千鳥町会館(毎月第4月曜日)を開催しています。どうぞ、皆様お誘いあわせの上、奮ってご参加ください(詳細については下記電話番号にお問い合わせください)。

「介護をしているが大変…どうしていいかわからない」、「近所の一人暮らしの方が、身の回りのお手伝いが必要になってきたようだ」など、ご生活上でお困り事はございませんか? そんな時、まずは「地域包括支援センターたまがわ」にご一報ください。「笑顔で繋ぐ 地域の絆」をスローガンに、地域の皆様と手を携え、職員一丸となってお手伝いいたします。

認知症カフェ

|| オレンジカフェ
「つながる」

認知症予防に関心のある方、認知症初期の方やそのご家族を対象に毎月第2水曜日に開催しています。おぎわら医院院長荻原牧夫先生によるミニ講座に加え、脳を活性化するプログラム、美味しいコーヒーを準備し、皆様のお越しをお待ちしております。認知症の方や、ご家族の相談に応じるとともに交流などが楽しめる場となっております。ご家族や近隣の方に、認知症の症状が疑われる際は、「地域包括支援センターたまがわ」にご相談ください。

「認知症サポーター養成講座」を開催しています

現在、65歳以上の方のうち認知症を発症している方は推計で15%、およそ500万人弱に上る事が厚生労働省の調査で明らかになっております。認知症の前段階とされる軽度認知障害の方も約400万人に上ると推計されており、まさに4人に1人の方が認知症及び、その予備軍となる計算です。

熱中症に気をつけましょう!

居間・寝室など普段通りに過ごしている場所が、気づかないうちに高温になることがあります。エアコンを使用し、室温を27度以下に保ちましょう。水分補給は「コップ半分程度の量を15分〜20分おきに」が基本です。外出中は意識して、こまめな水分補給を心がけてください。1日3食、バランス良く食べることも熱中症予防のポイントです。

地域包括支援センターたまがわ

中田 賢佑
(03-5732-1026)



【お問い合わせ】 当施設スタッフまで、お気軽にご相談ください。 ☎03-5741-8500
【所在地】 大田区千鳥二丁目34番24号
【お申込み方法】 大田区地域福祉課もしくは地域包括支援センター(さわやかサポート)に、入所申込み書をご提出ください。

鶉の木地区初の特別養護老人ホーム「ケアホーム千鳥」オープン!
施設長 宮内 見輔
この度、4月1日にオープン致しました。「ケアホーム千鳥」はユニット型の特別養護老人ホームです。5階建ての建物で、1階部分は地域交流スペースをはじめ、職員用の託児所や事務所・厨房があり、2階〜5階部分にはご利用者様の入居スペースがございます。自宅での介護が困難な方を対象に、必要なお手伝いを行い、その人らしく安心して過ごしていただく施設です。ご利用者さん、ご家族、そして地域のみなさんと実り豊かな関係を築き愛される施設を目指して職員一同精進して参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

開校七十周年を迎えて

嶺町小学校 校長 田口登志子

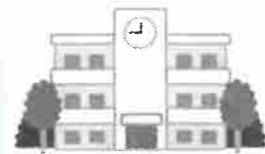
日頃より、本校の教育活動に御支援、御協力いただき、ありがとうございます。皆様方のお力添えにより、本校は今年度、開校七十周年を迎えることができました。ありがとうございます。

本校は昭和23年、東調布第三小学校から分かれて開校しました。大田区で戦後初めてできた学校です。開校当時の児童数は789人、16学級でした。当時は新校舎もなく、東調布第三小学校の教室を借りて二部授業をしていました。その後校舎が完成し、児童数も増加し、昭和31年には1771人の児童が在籍となりました。現在も807名、大規模校の仲間入りをしています。

嶺町小学校は、自然環境をいかした多摩川活動を行っています。川に入って水生昆虫を観察したり、土手でバードウォッチングをしています。また、地域・PTOの皆様のご協力により、数々の行事やイベントを開催していただき、児童の楽しみは尽きません。

今後も、「地域に根付いた、心豊かな子」の育成を目指し教育活動を行ってまいります。

皆様のご協力をお願いできれば幸いです。



創立九十周年を迎えて

東調布第三小学校 校長 本田幸彦

東調布第三小学校は、昭和2年3月14日、東調布尋常高等小学校(現在の東調布第一小学校)の第二分教場として久が原台地の南にあたる現在の地に誕生しました。当時の嶺村の一部と鶉ノ木村の一部を学区とし、教室は六つ、児童数は126人、教員は六名で、学校の周りは桑畑が広がっていて家は一軒もなかったそうです。

その2年後、昭和4年3月に東調布第二尋常小学校として独立しましたが、同年8月にさらに2つに分かれ、本校は東調布第三尋常小学校と改称されました。そして昭和22年に大田区立東調布第三小学校になりました。

この90年間に、一万二千名を超える方々が卒業し、社会の各方面において活躍されています。地域に生まれ、地域とともに歩んできた90年の歳月は、本校を愛し育ててくださった多くの方々の歴史、伝統であるとともに、未来への希望でもあります。

本年9月22日(土)には記念式典、児童集会、祝賀会を開催する予定です。これからも、本校の歴史と伝統を重んじ、九十周年を節目としてさらなる発展を目指して、未来を担う児童の育成に教職員一丸となって全力で取り組んでまいります。今後とも皆様のご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。



創立当時 昭和2年

祝
創立記念おめでとう

七十年の永続的な教え

大森第七中学校
校長 鶴貝 秀明

本校開校三年目の昭和二四年に、本校の校訓「自治・礼節・勤勉」について、初代校長田澤武先生の記述がありましたのでご紹介させていただきます。第一に礼儀が記されています。

「人は、己が社会・家庭・他人からいかに大きな恩恵を受けて生活しているかを知るとき、そこにはじめて生活の意義を知り、勉学の目的を悟り、自己の任務を自覚するのである。礼儀は、驍の一徳目、本校における第一実践項目としてあげる。」

第二に勤勉
「自己を救うものは自己以外にはなく我々はこの際、自ら汗して食い、自ら努めて道を開く気力を養うことが肝要である。自主独立の精神もこれによって養われ、自学自習の風もこれによって醸成され、学校を終えても終生勉学・心理の探求に邁進する態度が養われるものである。」

第三に自治
「自治的精神は、日常生活に於いて自分の身の回りのことは自分で処理し、他人の手を借りない構成より始まり、これより更に学習自治、学校自治、社会・国家の自治に発展する。この才徳に留意すべきは、独善的にならず、協調的・融和的な真の自治的態度を習得せしむるものである。」